

2021年 あじさいまつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選（一般の部）

縁側に祖母居りし日の額の花

川崎市 藤原 幸子

評 幼き頃、親しんだ祖母がいらっしやって、繕いものなどを縁側ですることも多かったのでしょうか。額紫陽花もともに記憶の底に。

止みし雨合歓の花よりこぼれ落つ

府中市 小林美智恵

評 雨上がりで合歓の花もより鮮やかで、その色に染まった雨雫をこぼします。鮮度のある句だと思われました。

開け放つ農家の座敷濃紫陽花

府中市 柿谷 妙子

評 梅雨の晴間、このときとばかりに開け放たれたのでしょうか。濃紫陽花がしっかりと下五に座っています。

沙羅の花あの世この世の白さかな

府中市 山田 節子

評 精彩のある白さをもつ沙羅の花は、「あの世この世」を繋ぐのにふさわしい花でもあるでしょう。

紫陽花や昔日偲ぶ旧校舎

府中市 福江 洽一

評 昔日の小学校でも多くが窓辺を紫陽花が飾っていたでしょう。そんなご自身のかつてのことも思い起こされたのかも知れません。

佳作（一般の部）

地にふれんばかりにあぢさみ花の垂る

杉並区 鈴木 和雄

紫陽花の花に酔ひしれはけの茶屋

府中市 浅田 章

風を誘ひて紫陽花のいよ濃し

府中市 志田 礼子

降り出して植田をよぎる波頭

品川区 澤 由紀江

今年竹節まだ白く佇めり

府中市 山本 郷江

紫陽花の栗抱へて傾ぎけり

府中市 関口 通恵

雷雲にたちまち樹々の騒めけり

府中市 大内みち子

閉ざされしまひまひず井戸夏の草

府中市 芝 喜久子

濃紫陽花亀が風聴く石の上

府中市 村田のぼる

紫陽花に触れねば行けぬ小径かな

八王子市 菅家 端正

（敬称略 新漢字 歴史的仮名遣い 順不同）

【榎本 達】 昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。

俳人協会会員

2021年 あじさいまつり俳句優秀作品

(小・中学生の部)

特選(小・中学生の部) 該当者なし

佳作(小・中学生の部)

そよ風でおどりだしたよあじさいが

府中市

森

晏奈(小五)

あじさいがつゆにさきますあめだから

府中市

森

希亜(小三)

あじさいはきれいな色がいっぱいだ

府中市

小池

遙(小二)

あじさいにまじりさうばわれうつとりと

府中市

玉城

柚歌(小五)

あめのひにあじさいこそそのちからだす

府中市

玉城依千花(小三)

(敬称略 順不同)

〔榎本 達〕 昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。

俳人協会会員